

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和7年12月5日(金)  
12時57分開会 13時16分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：田村幸紀 副委員長：只野敏彦  
委 員：中河つる子、鈴木孝寿、中島里司、深沼達生  
議 長：(欠席：同時開催の総務産業常任委員会へ出席)
- 4 事務局 事務局次長兼総務係長：宇都宮 学
- 5 議 件  
(1) 所管事務調査の申し出について  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 12 : 57】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（田村幸紀）：それでは、皆さんお疲れ様でございます。只今から、厚生文教常任委員会を開催する。議長は、総務産業常任委員会のほうに出席している。委員は、全員出席である。早速議件に入る。本日の議件は、所管事務調査の申し出ということで3月定例会までの所管事務調査について、調査事項を協議する。それでは、協議に入る前に、前回までに出されたものをもう一度こちらのほうで発表する。小中一貫校に関するものがまず1つ目。外国人労働者と多文化共生に関するものが2つ目。もう1つ、3つ目として、引きこもりも含めた不登校児対応についてというものが今のところ候補として前回挙げられたものがある。あと、体育館については、前回の委員会では、来年度に実施ということなので、これはちょっと先に置いておくこととして、この3つが今のところ候補としてある。その他、今の状況等を考えて、何かあれば発言をお願いします。

鈴木委員：うちらがやる前の2年間でやっていた中で、例えば、小中一貫校というのはやっていたような気がした。それと、不登校の関係は、7、8年ぐらい前に、私が委員長のときにやっている。前回までの委員会で、そういうのが出ているということで、わかった。

中河委員：小中一貫校はもう、令和7年、今年度から始まっているということである。私が1つ考えてきたのは、今年度から英語教育に力を入れるということで、学校現場の教師や子どもたちの現状、実情どうなっているかなというのが、私は疑問というか、調べたらいいかなというのがあったのですけど。

委員長：英語教育の現状についてということか。

中河委員：そう。

委員長：あと、小中一貫教育について、は資料では令和6年12月の定例会のときに、所管事務調査の報告をやっており、そして、令和7年度から本格導入して、期待される効果とか、既に一応、示されているものなので、まだ、もう少し後でもいいかなというご意見があった。何かほかにあるか。

深沼委員：昨年度10月に、コミュニティバスがなくなって、今買い物銀行バスだけになっているが、現状どのようになっているのか。そのために、使いたい人がきっちり使えているのかどうかという部分も。あったものがなくなった部分があるので。それとあとと言われていた社会福祉協議会でやっている中で、前に言われていたのが、休憩場所とかがやはりなというふうに言われている中で、今そういうことが改善されているかどうかという部分も、どうなのかと気になる部分がある。

只野委員：私は、先ほど言った3つの中で、消去法ではないが、外国人労働者の部分がいいのかなと思う。

鈴木委員：私は、今、出ていたものとは全く違うが。どちらかと言ったら、深沼委員が言われたような買い物銀行バスの足の問題が1つと。スクールバス及び給食センターもし

ばらく行っていないので、スクールバスとか町民バス…。町民バスは200数万円かけて直したが、結局また壊れてどうのこうのかという、今また直ったのだけ。あと、あまり個人的には調べづらいというところもあるのだけど、スクールバスの運転手がどんどん辞めていく、若しくは確保できない状態がちょっと続いているというような…。あと、運転手の方々からも、いろいろな問題点というのを個別に聞いたりしているから、このままいたら本当に運行に支障が起きるのではないかなというお話もあちこちで聞くものであるから、現状どうなっているのかなという。ただ、そこだけやると、すぐ終わってしまうので。給食センターも、しばらく見てないから、今現状どうなっているのか、見たいなど。調査するなら、学校教育課、教育委員会の部局もその確認をしていきたいと思う。運行だけであつたら、あれなので、買い物銀行バスと例えば…。昔は、一般の人もスクールバスに乗れた時代もあったけど、今はどうなっているかわからないが、連携するとしたら面白いかなと思ったりもするので。スクールバスと社協のバスも、3月まで時間は結構あるので。今最初に言ったのが一番、人員確保が本当に厳しくなっているというのはよく聞くものであるから、その実態調査というのはしていかなければならないのかな。もしかしたら、うちの町の委託金額が安いのか、高いのかも含めて、調査しなければならぬかなという感じはしている。

深沼委員：コミュニティバスは企画課だけど、買い物銀行バスは社会福祉協議会という認識でいたから、私も前回言おうと思ったのだけど。よくよく考えると、コミュニティバスは、企画課で考えていたのだけど、買い物銀行バスは社会福祉協議会だからいいのかと思って、それでちょっと話しを出した。

委員長：今挙がっていたもので厚生文教の所管になるのが、英語教育の現状というところと、買い物銀行バスは地域公共交通ということで、ちょっとグレーな部分があるかなという部分で難しいと。あと、外国人労働者と共生していくという部分。あとは、公共交通の部分も絡めつつ、スクールバスと町民バスの現状、人員確保の実態調査等々というところが今のところ候補に挙がって、前回の部分で残っているのが、不登校の関係も含めつつということで残っている。一応、この中から絞るとということで、ご確認いただいてもよろしいか。外国人労働者の関係は国際交流がらみになると、うちの所管から外れるかもしれないということも想定しつつ、ちょっと検討したいと思う。

鈴木委員：最後のその他で言おうと思ったのだけど、厚生文教と総務産業は、8年前か9年前かに私が発案して実は組み替えになったのである。その頃は、学校教育は学校教育課、保健福祉はそちらの委員会。子育てとかがあって、だんだんこういうのがおかしくなっているというか、関連付けてしまっているから。関連付けされるじゃないですか。こういう話も議会運営委員会とかに委員長のほうから言ってもらって、組み換えもう少し考えて…。委員会が2つしかないのだから。難しいのだと。せっかく外国人労働の話をしたら、交流とかなったら、また違ってくるか。厚生文教は、実は広いようで、すごく狭いのだと。総務産業が広すぎるのだけど、向こうからどうやってもらうかという感じになるのだけど。そういうのも、後々。その他ということで、お話をさせてもらった。飛んだが、申し訳ない。

委員長：それでは、今挙がった項目について、12月11日の本会議が終わって、全員協議会の前後にもう一度設定させていただき、今の上がってきた項目の中で、どれを調査するところを、次回決めたいと思うが、よろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：それまでご検討ください。1つ目の所管事務調査の申し出については、一旦12月11

日に決定を先送りする。

## (2) その他

委員長：その他の部分に移る。議件その他ということで、今所管割のお話いただいた分については、私のほうから議運のときに1度発言させていただいて、今後の検討ということで、議運のほうに諮っていきたいと思う。

鈴木委員：さきほど深沼委員の言った買い物銀行バスとか社協のやつも、どちらかと言ったら高齢者のあれなので。免許返納のタクシーチケットは保健福祉課だったと。複雑になっているから。どちらでも入れるような委員会があってもいいかなと。やる方は大変だと思うけど、企画課は。そういう問題もやはり出てきているし、今、只野委員が言っている外国人問題についても。今のところは状況として外国人の問題にはなっていないけど、これからどういうふうになっていくかというのは複雑化して。外国人の関係は、町民生活課なのか、商工観光課になるのか。外国人労働者になったら、どちらかという商工観光課か。ということになると面倒くさい話であって。もうちょっと時間かけて、この委員会割については、この後全員協議会でやるいろいろな話とも関連はしてくるので。ちょっとそこは、全体的協議もしなければならぬけれども、考えていただかなければならないのは、議運しかないなど。どうぞ、願います。

委員長：その他、何か皆さんからあるか。

(「なし」との声あり)

委員長：事務局からは、12月12日までに、次回の所管事務調査の内容について決定する方向でいきたいというふうにいただいているので、11日に決定させていただきたいと思う。また、ご案内申し上げますので、よろしく願います。以上で議件がすべて終了したので、本日の厚生文教常任委員会は終了する。お疲れ様でした。

【閉会：13時16分】